

荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

さあ、今年もサポーターの出前授業がスタートしました！

今回は、生徒達にとって新学年になって初めての出前授業がありました。各学校で、環境サポーターのみなさんから、どのような話があったのでしょうか…。

ミドリシジミとハンノキの

切っても切れない関係

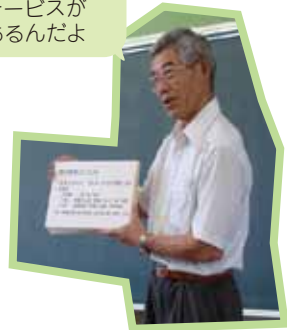
内田潤さん

埼玉県の蝶「ミドリシジミ」は7月中旬、若いハンノキの幹に卵を産みます。卵のまま冬を越して、4月頃、緑色の幼虫に。ハンノキの葉を食べて大きくなって、6月中旬から下旬頃、エメラルドグリーンに輝くチョウの姿になります。太平中学校(科学部)にて

生態系サービスとは 廿浦章さん

土をつくったり、水や空気をきれいにしたり、食べものや薬の材料をもらったり…、こうした私たちが自然から受ける恵みを、「生態系サービス」と言います。このサービスが受けられなくなると、大変なことになるから、みんなで自然を守ろうとしているんだよ。出丸小学校(6年生)にて

3つの生態系サービスがあるんだよ



ミドリシジミが食べるのは…



暑いけど、頑張ってる成長中!!

ハンゲショウのヒミツ 安孫子繁子さん

水辺に生えるハンゲショウの葉が白くなる理由を知っていますか？それは、虫たちに受粉を手伝ってもらえるから。たくさんの虫に来てもらえば、もっと受粉できる…。自分を目立たせて虫を呼び寄せるために、ハンゲショウは白くなるんですよ。出丸小学校(5年生)にて

なんでかな？



最後にハンノキプロジェクト参加認定証がみんなに手渡されました



三ツ又沼ビオトープ観察会

夕暮れ時の観察会

「ミドリシジミに会いに行こう！」を開催しました

7月8日(日)、埼玉県の蝶である「ミドリシジミ」の観察会を、三ツ又沼ビオトープで行いました。当日は、ミドリシジミの観察のほかに三ツ又沼ビオトープの自然や日頃の環境サポーターの活動についてもご紹介しました。

あ、いた！



環境サポーターによる 管理作業

外来植物の抜き取り作業を行いました

オオブタクサやシンジュなど、外国から侵入した植物(外来植物)が、三ツ又沼ビオトープに自生している日本の野草たちを侵略しつつあります。こうした状況のなか、6月29日にハンノキ広場の外来植物を取り除く作業を、環境サポーターをはじめとしたボランティアの皆さんと一緒に行いました。外来植物を三ツ又沼から除くためには、継続して除去作業を行うことが一番効果的です。より多くのボランティアのご参加をお待ちしております！

暑い暑い…



ハンノキ広場の真ん中にシンジュ(中国原産)が生えています。アツという間に成長したようで早速切りました
写真提供: 環境サポーター小川早枝子さん

三ツ又沼ビオトープで出会える生きものたち

オオブタクサ

要注意外来生物



【時期】 8～9月

北アメリカの自然にもともと生える植物。成長が速く、大きくなるため、三ツ又沼ビオトープに本来生える植物の育つ場所をうばってしまうことが心配されている。

コムラサキ

埼玉県 RDB
準絶滅危惧



【時期】 6～8月

オスは光の角度によって色が変わる美しい青紫色の羽をもっている。幼虫はヤナギ類の葉を食べる。成虫はヤナギ類やクヌギの樹液を吸う。

アカスジキンカメムシ



【時期】 5～8月

体は光沢のある緑色で、赤色の模様がある。成虫も幼虫もミズキやハンノキなどの葉や実の汁を吸う。また、幼虫は落ち葉の中や樹皮の下などで冬越しする。

野遊び教室 色が色々草木染 何色に染まるかな？

三ツ又沼ビオトープの貴重な自然を守るために欠かせない、外来植物を取りのぞく作業。これを草木染めに利用すれば、楽しくオリジナル作品が残せて、一石二鳥!! 媒染剤、季節や温度によって色が違うのが草木染めの魅力。ぜひチャレンジしてみてください。

準備 布、染料となる外来植物（セイタカアワダチソウなど）、中性洗剤、媒染剤※（ミョウバンなど）、ナベ、洗濯ネット、バケツまたはボウル
※きれいに色を出し、色落ちを防ぐ。媒染剤により色が違う。



綿など植物性の布は、中性洗剤に20～30分つけた後、水をきっておく。こうするとよく染まる。

染めてみよう!

1. 根を落としてちぎりながら、洗濯ネットへ。ネットごと水に入れて火にかけ、沸騰後15～20分煮て、染料を作る。



2. 布を染料に入れて、15～20分煮る。



4. 2と3を繰り返す、自分の好きな色にする。

3. 布を軽く絞ってミョウバン液などの媒染液に入れ、15分～20分やさしくもむ。



5. 色が出なくなるまで水で洗う。



6. 乾かしてできあがり!



ステキでしょ?

※三ツ又沼ビオトープ内で、草木染めの材料となる外来植物を採取するときには、環境サポーターに指導を受けましょう。詳しくは、あらかわ市民環境サポーター事務局までお問い合わせください。また、三ツ又沼ビオトープ内では火の使用は禁止されています。草木染めの作業は、ほかの場所でお願います。

写真提供：環境サポーター 菅間宏子さん

【三ツ又沼ビオトープへ行こう!】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省と一緒に、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だね!」と、人々に伝える活動をしています。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所にて登録）。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!

